

八木山自然の会設立経緯と目的

平成14年8月12日付にて、八木山まちづくり協議会（八木山連合自治会を中心とした15の公的地域団体・学校組織等の連合体）が各務原市に提言した「八木山の自然保護と登山道整備計画への提言」に基づき、平成15年に八木山の自然を維持管理するための住民ボランティア組織「八木山自然の会」を立ち上げました。現在37名が各務原市パークレンジャーとして登録し、主に八木山三山の南斜面を活動範囲として、登山道の整備、植樹、植物調査、小動物の保護等を目的として、下記の活動を行っております。

- ① 登山道を定期的に整備、沿道の枝打ち及び倒木・松枯れ等の処理。
- ② 自然景観に配慮した道標・案内板を設置し及び補修。
- ③ 沿道の樹木に名札をつけ、登山者に植生植物の保護及び小学校の「八木山活動」における植物知識の啓蒙活動。
- ④ 山桃・山桜・白樺等の植樹活動。
- ⑤ 八木山周回道路（交通公園・自然遺産の森公園をつなぐ道路）の清掃活動。
- ⑥ 倒木・松枯れ樹木を活用し地域行事に必要な薪作り。
- ⑦ 要請に基づき、小・中学生の八木山活動・自然体験・巣箱設置・登山道清掃・整備等の指導を通じた学習活動のサポート。